

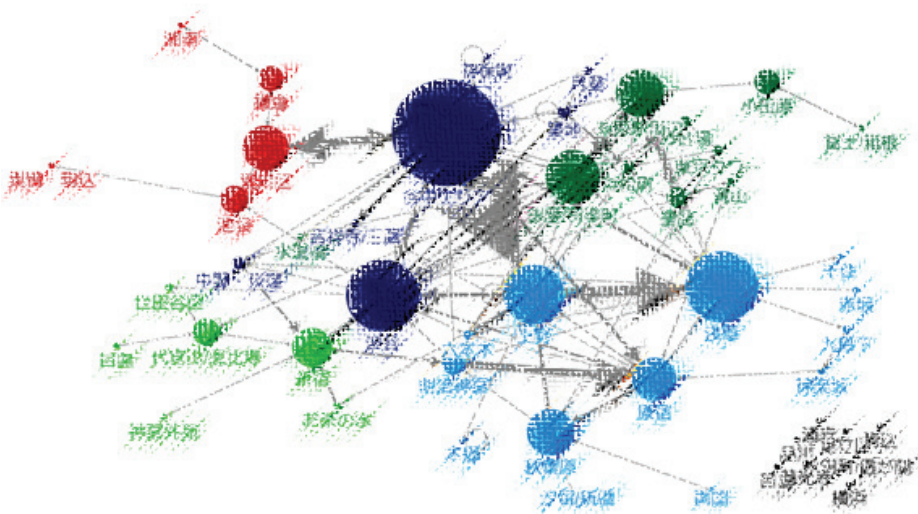
第11回

観光情報学会 全国大会 in 柏

「観光情報が拓く観光サービスのデザイン」



RACE
Research into Artifacts, Center for Engineering
The University of Tokyo



講演予稿集

2014年 6月20_日^金 ~ 6月21_日^土

会場： 東京大学 柏キャンパス

【主催】 観光情報学会、観光サービス研究コンソーシアム (Rosetta)

【共催】 東京大学 人工物工学研究センター

首都大学東京大学院 都市環境科学研究科 観光科学域

東京大学 柏キャンパスへようこそ

東京大学 人工物工学研究センター
原 辰徳

観光情報学会 第 11 回全国大会が、ここ東京大学柏キャンパスで開催する運びとなりました。最寄り駅であるつくばエクスプレス線 柏の葉キャンパス駅周辺は、複合開発型スマートシティの中核エリアとして、産官学が一体となった開発が今なお進められています。この 4 月にも、東京大学フューチャーセンター（柏の葉駅前総合研究棟）、KOIL（柏の葉オープンイノベーションラボ）、ららぽーと柏の葉北館などがオープンし、非常に活気に溢れています。実は今回の全国大会を開催するにあたり、同じく駅前にオープンする某ホテルを主要な宿泊施設として想定していましたが、開業時期の当てが外れてしまいました。その結果、皆様にご案内する宿泊施設が分散する形となり、ご不便をおかけしているところかと存じます。

さて、柏キャンパスについてももう少しご説明しましょう。東京大学は現在、本郷・駒場・柏の三極キャンパス構造をとっており、各キャンパスは以下の様に位置づけられています。

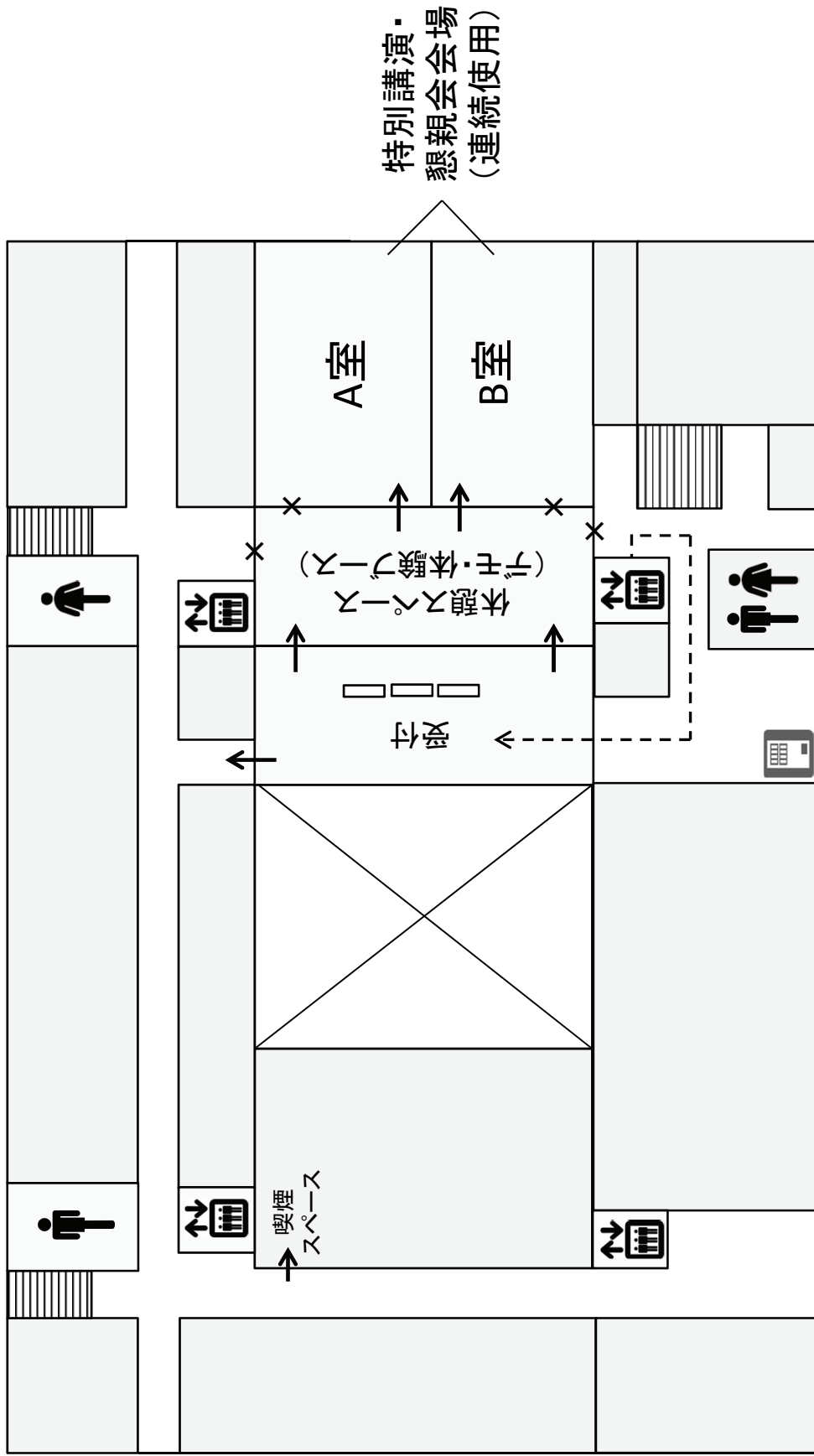
- 本郷キャンパス : 伝統的な学問領域を追求する（ディシプリン追求型）
- 駒場キャンパス : 様々な学問領域間をつなぐ（インターディシプリナリー型）
- 柏キャンパス : 多くの固有分野を横断的に再編成し、新しい学問領域を創成する（トランスディシプリナリー型）

一方、観光情報学は「観光と情報というキーワードをもとに、実社会を対象としたデザイン論を目指す新たな学問領域」と捉えることができ、これはトランスディシプリナリー型のアプローチといえるでしょう。したがって、ここ柏キャンパスは、観光情報学会の全国大会を開催し、観光情報学を論じるにふさわしい場所ではないでしょうか。

このような観点も踏まえ、今回の全国大会のテーマを「観光情報が拓く観光サービスのデザイン」とし、通常の口頭発表の他、3 件の特別講演とデモ・体験セッションを設けました。全般的に、前回の北見工業大学でのおもてなし精神あふれる全国大会と比較して簡素な仕上がりになっているかと思いますが、大会参加者の皆様の知的好奇心を満たすことができれば幸いです。

平成 26 年 6 月吉日

総合研究棟6Fフロアマップ



プログラム

2014年6月20日（金）

- 10:30-12:10 学術講演セッション1（A/B会場）
- 12:10-13:30 昼休み
- 13:30-13:40 開会の辞（A+B会場）
- 13:50-14:40 特別講演1（A+B会場）
「観光情報学における解かれるべき「問題」」
公立はこだて未来大学 教授 松原 仁 氏（観光情報学会会長）
- 14:40-15:30 特別講演2（A+B会場）
「モバイル観光情報サービスの現状と今後の展開」
NTTドコモ 研究開発センター 主査 深澤 佑介 氏
- 15:50-17:10 学術講演セッション2（A/B会場）
- 17:25-18:00 デモ・体験セッション
- 18:10 懇親会（A+B会場）

2014年6月21日（土）

- 09:20-10:10 特別講演3
「サービス学：課題と研究法」
芝浦工業大学 教授 新井 民夫 氏（サービス学会会長）
- 10:30-11:50 学術講演セッション3
- 11:50-12:30 支部報告・総会（30～40分程度）

学術講演プログラム

【セッション1】 6月20日（金）10:30-12:10

■ A室

1-A1	GPS 軌跡を利用した観光行動における移動・滞在モード推定	笠原 秀一（京都大学） 森 幹彦（京都大学） 椋木 雅之（京都大学） 美濃 導彦（京都大学）	10
1-A2	「食」と「温泉」がメンタルヘルスに与える影響	長尾 光悦（北海道情報大学） 斎藤 一（北海道情報大学） 松田 成司（北海道情報大学） 大島 直樹（北海道情報大学）	12
1-A3	宿泊施設の観点に着目した施設活性度の定量化と分析	榊井 文人（北見工業大学） 大江 友弘（北海道温根湯温泉大江本家） 佐藤亮弥（北見工業大学） プタシンスキ ミハウ（北見工業大学） 升井 洋志（北見工業大学） 後藤 文太郎（北見工業大学） 前田 康成（北見工業大学）	14
1-A4	個人投稿に見る北海道の観光地の特徴に関する考察	泉澤 圭亮（札幌国際大学） 梅村 匡史（札幌国際大学） 乳井 克憲（札幌国際大学）	16
1-A5	工場景観の観光対象化の現状と変遷に関する研究～工場景観ツアーの現状と検索サイト検索語分析を通して～	矢追 鍊（株式会社 日本政策金融公庫） 直井 岳人（首都大学東京）	18

■ B室

1-B1	東北を知るきっかけを作るカードゲーム「東北ブレイブズ」の開発	佐藤 雄哉（北海道情報大学） 嶋津 貴之（北海道情報大学） 佐藤 佑起（北海道情報大学） 吉野 正樹（北海道情報大学） 斎藤 一（北海道情報大学）	20
1-B2	道の駅に併設した野外美術館を対象とする観光支援システムの設計	佐藤 亮（岩手県立大学） 市川 尚（岩手県立大学） 富澤 浩樹（岩手県立大学） 阿部 昭博（岩手県立大学）	22
1-B3	AR と LOD を利用した地域歴史資産の活用と地域の観光・教育のための情報提供システムの提案～地域観光と地域教育への AR コンテンツの利用～	佐藤 正徳（公立はこだて未来大学） 大場 みち子（公立はこだて未来大学）	24
1-B4	投稿型観光アプリケーションシステムの制作	江崎 貴昭（首都大学東京） 倉田 陽平（首都大学東京）	26
1-B5	イベント運営の記録と再利用に関する提案	浅井 俊行（北海道大学） 平田 圭（北海道大学） 川村 秀憲（北海道大学） 鈴木 恵二（北海道大学）	28

【セッション2】 6月20日（金） 15:50-17:10

■ A室

1-A6	BSC(バランススコアカード)による観光戦略策定の試みと考察	高谷 敏彦 (仙台環境開発株式会社) 大内 東 (北海商科大学)	30
1-A7	グリーン・ツーリズムによる地域活性化	王 萌飛 (北陸先端科学技術大学院大学)	32
1-A8	消費財メーカーの集客実態にみる産業観光～東京都内における企業活動を事例に～	延東 洋輔 (首都大学東京) 倉田 陽平 (首都大学東京)	34
1-A9	日本領有時代の台湾における余暇活動に関する研究～映画《ビバ トナル ダンス時代》の情報に基づいて～	黄 淑芬 (銘傳大学 (台湾))	36

■ B室

1-B6	旅行プラン作成支援ツール CT-Planner のプラットフォーム化に向けて	倉田 陽平 (首都大学東京) 原 辰徳 (東京大学)	38
1-B7	観光中の再計画に向けた事前の旅 程計画支援	嶋田 敏 (東京大学) 緒方 大樹 (東京大学) 太田 順 (東京大学) 原 辰徳 (東京大学) 倉田 陽平 (首都大学東京)	40
1-B8	写真共有サイトを利用した観光ポ テンシャルダイズ抽出	嶋田 和孝 (九州工業大学) 上原 尚 (九州工業大学) 遠藤 勉 (九州工業大学)	42

【セッション3】 6月21日（土）10:30-11:50

■ A室

2-A1	東京ディズニーランド建設とウォルト・ディズニー・イマジニアリング社 ～海外進出における日米異文化対立～	中島 恵（大阪観光大学）	44
2-A2	"都市力"のモデル化と相互連携による 観光発展	宮川 結以（北見工業大学） 後藤 文太郎（北見工業大学） 前田 康成（北見工業大学） 榊井 文人（北見工業大学） 升井 洋志（北見工業大学）	46
2-A3	デザイン思考による日帰りバスツアー の開発	沢田 史子（北陸学院大学短期大学部） 吉田 武稔（北陸先端科学技術大学院大学）	48
2-A4	雨の日の観光の可能性	青野 由季（株式会社スーパーキッズ） 倉田 陽平（首都大学東京）	50

■ B室

2-B1	上野動物園来園者に対する GPS を用いた 観覧行動調査	川瀬 純也 倉田 陽平（首都大学東京） 相 尚寿（首都大学東京）	52
2-B2	実際の観光地とドーム映像での注視行 動の比較	尾久土 正己（和歌山大学） 杉村 理紗（日本郵便） 吉住 千亜紀（和歌山大学）	54
2-B3	地域を対象とした観光クラウドサービ スの在り方に関する考察	阿部 昭博（岩手県立大学） 市川 尚（岩手県立大学） 工藤 彰（株式会社ノーザンシステムサ ービス）	56

観光情報学会 第11回全国大会実行委員会

委員長	：原 辰徳	東京大学
副委員長	：倉田 陽平	首都大学東京
委員	：相 尚寿	首都大学東京
委員	：川村 秀憲	北海道大学
委員	：長尾 光悦	北海道情報大学
委員	：山本 雅人	北海道大学

特定非営利活動法人 観光情報学会

〒060-0814

北海道札幌市北区北 14 条西 9 丁目
北海道大学大学院情報科学研究科内
観光情報学会事務局

TEL : 080-3296-1873

電子メール : sti-office@sti-jpn.org

URL: <http://www.sti-jpn.org/>